自立支援センターパールうき　地震避難訓練計画

自立支援センターパールうき

1. 目的

地震を想定した避難訓練を実施し、職員、子供の防災意識を高める。また、事前の指導によって子供がパニックを起こさず、スムーズに避難を行えるようにする。

1. 実施日

令和6年 ８月 ２８日（水）

1. 参加者

職員：

児童：

1. 避難場所

　　　　　施設内駐車場

1. 指導計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 指導 | 支援・配慮・その他留意事項 |
| 事前指導 | ・地震が発生した際の身の守り方や逃げ方、注意事項を説明する。 | ・「頭を守ること」「揺れている間は動かない」「危険な所から早く離れること」を確認して訓練し身を守る行動を身に付けさせる。  ・言葉での理解が難しい子供に対しては、個別に分かりやすく指導を行う。 |
| 避難訓練 | ・地震発生を受け、初期対応を行った後、揺れが収まってから戸外への避難を行う。 | ・職員割り振り  　避難誘導・点呼：  　火元等安全確認：  　子どもの安全確認・報告：  ・初期対応では体を丸め、頭部を手で守るよう指示する。  ・避難の際には、それぞれ荷物で頭部を守りながら移動する。  ・戸外に出たら、二列で並び職員の指示があるまで私語がなく待てるよう留意する。 |
| 事後指導 | ・全体で振り返りを行う。 | ・感想や怖かったことなどを発表させ、配慮点の汲み取りを行う。 |

５．課題・対策（後日記載）

|  |  |
| --- | --- |
| 計画について | 子どもの様子 |
| 今回の避難訓練では、事前指導で地震の怖さなど絵や紙芝居を使って説明を行った。より怖さを知ってもらうため〇☓クイズにも取り組み意識づけを行う。 「お・か・し・も・」の避難ルールをイラストを使い伝えることで危機感を持ちながら避難できるよう促す。 | 災害の紙芝居は子どもたちも真剣に見ることができており、「お・か・し・も・」では“おさない”“はしらない”などのルールを全員が答えることができ、皆が理解できていた。地震警報音を鳴らし、頭を守るため棚や机の下に素早く隠れて揺れが収まるのを待ち慌てることなく落ち着いて安全に避難することができた。 |